

令和7年度 医歯工法プロ 特別講義「虐待に関する法医学」を開催

医歯工法プロでは、令和7年10月18日（土）に、選択科目である「虐待に関する法医学」の特別講義として、受講生を対象にした対面講義を開催しました。

本科目では、「医歯工法連携による次代の法医学者および地域関連人材の養成」コース（通称：医歯工法プロ）を実施している3大学以外の機関の専門家にもご協力いただき、法医学・法学・歯学など複数の分野の視点から虐待に関する講義を受講することができます。大半の講義は配信や講義動画の視聴で学ぶことができますが、実際の事例については情報の取り扱いに注意が必要であるため、対面講義の形をとっています。

昨年度に引き続き、東京医科大学基礎社会医学系 法医学分野の内ヶ崎西作教授をお招きし、具体的な虐待事案の外傷事例についてご紹介いただきました。様々な外傷の画像をもとに、どのような行為でその傷が生じたと考え得るか、検討のために行った実験なども含めてご講義いただきました。



受講生は、その外傷の成傷器や行為の過程を自ら思考する機会を通じて、より丁寧な外傷の観察の仕方を学ぶとともに、多岐にわたる外傷と成傷器の対応関係について知見を得ることができたと思われます。これらの学びが、虐待の早期発見や見逃し防止につながっていくことが期待されます。

文責：増田 浩子